

IGS 日本支部 2021 年通常総会 議事録

1. 日 時： 2021 年 2 月 4 日（木） 16：00～17：00
2. 場 所： Zoom オンライン
3. 議事資料：2021 年通常総会議題書
4. 議事内容
 - (1) 開会宣言
 - ・ 平井幹事長より 2021 年通常総会の開会宣言がなされた。
 - ・ 個人会員の 74%が出席（28 名）又は議長委任（114 名）、特別会員の 94%が出席（9 社）又は議長委任（9 社）で総票数 232。全会員票数 286 の 2 分の 1 を上回り、通常総会は成立した。
 - (2) 議長選出及び議長挨拶
 - ・ 議長には桑野支部長が選出され、承認された。
 - (3) 2020 年事業報告及び 2021 年事業計画【資料 1】
 - ・ 資料に基づき、各委員会より 2020 年活動報告、2021 年活動計画についてそれぞれ説明がなされた。
 - (4) 2020 年収支決算・2021 年予算(案)（財務委員会）【資料 2】
 - ・ 資料に基づき、板垣会計幹事より 2020 年決算報告、2021 年予算(案)について説明がなされ、承認された。
 - (5) 2020 年監査報告【資料 3】
 - ・ 資料に基づき、明永会計監事より 2020 年一般会計は適正かつ正確であることが報告された。
 - (6) 2021 年役員の選出【資料 4】
 - ・ 資料に基づき 2021 年役員の再任・新任・退任について説明がなされ、承認された。
 - (7) 閉会挨拶
 - ・ 平井幹事長の閉会挨拶により、2021 年通常総会は閉会した。

以上

国際ジオシンセティックス学会日本支部
2021年通常総会議題書

【 議 事 次 第 】

開会宣言

議長選出

議長挨拶

2020年事業報告及び2021年事業計画 【資料1】

2020年収支決算・2021年予算(案) 【資料2】

2020年監査報告 【資料3】

2021年役員選出 【資料4】

閉会挨拶

2021年2月4日(木)

於 Zoom オンライン

国際ジオシンセティックス学会日本支部

2020年事業報告及び2021年事業計画

1. 2020年未会員数 * () 内は2019年未会員数

| | | |
|------|------|--------|
| 正会員 | 196名 | (197名) |
| 学生会員 | 11名 | (10名) |
| 特別会員 | 19社 | (19社) |

2. 日本支部の主な活動

1) IGS 本部理事会：

3-1) 2020年は、理事の半数改選選挙が行われ、古閑理事に替わって宮田理事が選出された。

3-2) 理事会（勝見理事、宮田理事）：新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンラインで4回実施
2020年6月22日、8月3日、9月7日、11月9日

（当初は、4月にブラジル・リオデジャネイロと9月にポーランド・ワルシャワで実施予定だった）

2) IGS 本部対応（会員名簿の提出、会費納入など）

3) 2020年12月10-11日 第35回ジオシンセティックスシンポジウム（オンライン）

3. 刊行物の発行事業

1. 国際ジオシンセティックス学会日本支部会員名簿

2. ジオシンセティックス技術情報（3月、7月）

3. ジオシンセティックス論文集第35巻（冊子は作らず、J-Stageのみ公開）

2021年についても、2020年と同様の国際対応を含む事務局業務を行う

1) 本部対応（会員名簿の提出、会費納入など）

2) IGS 本部理事選挙は、2021年は予定がない

3) IGS 本部理事会は、日程は未定だが、オンラインで実施となる可能性がある

以上

ジオシンセティックス技術情報編集委員会2020年活動報告

(1) 2020年編集委員会活動報告内容

- 1) 第1回編集委員会（日時：令和2年1月9日(木)，場所：三井化学産資 8F 会議室）
 - ・ '20 編集体制の確認・検討・決定
 - ・ '20.3月号の進捗状況の確認と未入稿原稿への対応，次号送り原稿の検討
 - ・ ジオシンセティックス使用量アンケート調査について
 - ・ 支部総会資料の検討

- 2) 第2回編集委員会（日時：令和2年7月21日(火)，場所：三井化学産資 8F 会議室）
 - ・ '20 編集体制の確認：委員の退任・交代，原田委員（銭高組）→角田委員（銭高組）
 - ・ '20.3月号の進捗状況の確認と未入稿原稿への対応，次号送り原稿の検討
 - ・ '20.7月号の特集「災害復旧で使用されるジオシンセティックス技術」に関する検討
 - ・ '20.11月号の目次案および編集工程の検討
 - ・ ジオシンセティックス使用量アンケート調査について
 - ・ 技術賞推薦候補，技術奨励賞推薦候補の技術報文について，候補となり得る報文を検討し，次回の委員会で選考することとした。
 - ・ 技術情報の目次のアーカイブ化について

- 3) 第3回編集委員会（日時：令和2年9月23日(水)，場所：三井化学産資 8F 会議室）
 - ・ 技術賞推薦候補，技術奨励賞推薦候補の技術報文について，事前の委員選定結果に基づいて選考した。
 - ・ '20 編集体制の役割分担の確認
 - ・ '20.7月号の未入稿原稿への対応，次号送り原稿の検討
 - ・ '20.11月号の目次案および編集工程の検討
 - ・ '21.3月号の目次案および編集工程の検討
 - ・ ジオシンセティックス使用量アンケート調査について

- 4) 第4回編集委員会（日時：令和2年12月4日(金)，場所：Zoomによるオンライン開催）
 - ・ '20.11月号の未入稿原稿への対応，次号送り原稿の検討
 - ・ '21.3月号の目次案および編集工程の検討
 - ・ '21.7月号の特集号テーマと展望執筆者の検討
 - ・ 支部総会資料の検討

(2) 2020年委員会設営費報告

| 内 訳 | 予算 (円) | 実績 (円) | 備 考 |
|--------------------|---------|----------------------------|---|
| ① 委員会経費 ・ 編集委員会 | 200,000 | 70,000 65,000 63,000 | 第1回編集委員会交通費 第2回編集委員会交通費 第3回編集委員会交通費 |
| 合 計 | 200,000 | 198,000 | 残 2,000 円 |

ジオシンセティックス技術情報編集委員会2021年活動計画

(1) 2021年活動予定内容

<全体の活動内容>

定期発刊を心掛けるとともに、「技術報文」の投稿については、編集委員による情報収集のほか、情報提供して頂ける会員をオブザーバーという形で委員会にご参加して頂くとともに、シンポジウム掲載論文や他学協会の年次講演会を範疇に入れ、JC-JGS 技術賞候補論文およびJC-JGS 技術奨励賞論文の対象に成り得るような質の高い「技術報文」の掘り起こしを積極的に行う予定である。

毎年、特集号として位置付けられる7月号については、最近のジオシンセティックス技術の動向を探る観点から、また、新たな展開を期待する意味合いから、「**浅層地盤改良への展開**」をテーマとして技術報文を募集する予定である。

さらに、我が国におけるジオシンセティックス関連の規格・基準の整備の必要性が認識されつつあることから、ISO や ASTM で審議中の規格案に関する「審議情報」を積極的に掲載していくとともに、これまで同様、「修士、博士論文概要の紹介」などの掲載を引き続き行う。

昨年から計画している「ジオシンセティックス使用量に関するアンケート調査」を実施し、集計・取りまとめを行い、報告書の作成および技術情報に調査結果を公表する予定である。

<具体的な活動内容>

1. ジオシンセティックス技術情報の発行

ジオシンセティック技術情報は、従来通り年3回の発行とする。

(2021年3月号、2021年7月号、2021年11月号)

2. 編集委員会

編集委員会においては、ジオシンセティックス技術情報を滞り無く発行するための定例業務として、目次案の検討や原稿執筆状況の確認などを行うとともに、編集に際しての問題点の解決を行う。また、継続的な審議事項として、編集方針や内容分類の整理、テーマ特集号の設定、新企画の検討など、読者のニーズに合うように **check and review** を積極的に行う。なお、5月および7月の編集委員会では、2021年度技術賞、技術奨励賞の受賞候補となる技術報文の推薦選考を行う予定である。

開催予定：4回程度（1月、5月、7月、9月を予定）

3. 主査・副査担当者

主査・副査担当においては、編集委員会で決定した編集方針に基づくジオシンセティックス技術情報の実質的な編集作業として、原稿の内容確認などを行う。なお、今年度の主査・副査担当者は以下に示す通りである。また、編集作業は、基本的にはメールで作業を行う。

21年3月号：主査 土橋委員、副査：山中委員、木幡委員長

7月号：主査 内村委員、副査：小浪委員、高橋委員

11月号：主査 山中委員、副査：榊尾幹事、片山委員

(2) 2021年設営費計画

委員会設営費については、例年通りの交通費として以下の予算案としたい。

| 内 訳 | 予算案 (円) | 備 考 |
|-------------------|---------|---------------------------------|
| ① 委員会経費 ・編集委員会 | 200,000 | 委員会交通費 (60,000×2回+20,000×4回) |
| 合 計 | 200,000 | |

行事委員会2020年活動報告

(1) 2020年活動報告

第35回ジオシンセティックスシンポジウムを、2020年12月10日～11日にオンライン形式(Zoom meeting, 会場予備：JGS会館)で開催した。

[第35回ジオシンセティックスシンポジウム・開催概要]

主催：国際ジオシンセティックス学会日本支部

共催：公益社団法人地盤工学会， 協賛：一般社団法人繊維学会

発表件数：31編(研究開発論文27編，事例報告4編)

セッション数：8(一般発表セッション：7，委員会セッション：1)

委員会セッション：コーポレートメンバー委員会～製品・工法紹介セッション(5社・機関)

試験法委員会(ジオシンセティックス試験法，JIS A 1908の改訂に関して)

JC-IGS 論文賞・奨励賞・技術賞・技術奨励賞表彰式

論文集購入者：80名

(2) 2020年委員会設営費報告

| 内 訳 | 予 算 | 実 績 | 備 考 |
|-------------|---------|--------|-----|
| 交通費ほか | 50,000 | 13,600 | |
| 通信費・消耗品費等 | 30,000 | 1,460 | |
| 論文集編集アルバイト代 | 20,000 | 31,000 | |
| 合 計 | 100,000 | 46,060 | |

(3) 第35回ジオシンセティックスシンポジウム収支報告

| 第35回ジオシンセティックスシンポジウム収入 | | | | | |
|------------------------|-----------|-----------------|----------------|----------|-----------------|
| 2020年12月10日・11日 | | | | | |
| 《シンポジウム》 | 参加者 | 収入額 | 《懇親会》 | 参加者 | 収入額 |
| 正会員 | 43 | ¥172,000 | 参加者 | 0 | ¥0 |
| 非会員 | 8 | ¥48,000 | 受賞者 | 0 | ¥0 |
| 招待 | 8 | ¥0 | 招待 | 0 | ¥0 |
| 優待 | 5 | ¥20,000 | | | |
| 学生 | 16 | ¥16,000 | 学 生 | 0 | ¥0 |
| 講演者 | 0 | ¥0 | 講演者 | 0 | ¥0 |
| 小 計 | 80 | ¥256,000 | 小 計 | 0 | ¥0 |
| 《請求書払い》 | 件 数 | 収入額 | 《論文集販売》 | 件 数 | 収入額 |
| 正会員 | | ¥0 | 正会員 | | ¥0 |
| 非会員 | | ¥0 | 非会員 | | ¥0 |
| 学 生 | | ¥0 | | | |
| 小 計 | 0 | ¥0 | 小 計 | 0 | ¥0 |
| シンポジウム計 | 80 | ¥256,000 | | | |
| | | | 総収入 | | ¥256,000 |

| 支 出 内 訳 | 予 算 | 実 績 | 備 考 |
|-----------------|---------|---------|-------|
| 会場費・設営費 | 100,000 | 64,000 | |
| 論文集印刷費 | 410,000 | 54,065 | デジタル版 |
| 特別講演謝礼 | 60,000 | 0 | |
| 通信費・消耗品・事務局旅費ほか | 30,000 | 0 | |
| 懇親会費 | 150,000 | 0 | |
| 合 計 | 750,000 | 118,065 | |

行事委員会2021年活動計画

(1) 2021年活動予定内容

第36回ジオシンセティックスシンポジウムは、2021年12月2日～3日での開催を計画している。開催形態は集合型シンポジウムを予定しているが、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえてオンライン形式(Zoom meeting)として開催する。

- 2月 会場、日時の決定
- 2月 ジオシンセティックス技術情報、Web、メールでの発表論文募集への会告掲載
- 4月 地盤工学会・繊維学会へのジオシンセティックスシンポジウム共催依頼、広報依頼
- 5月 論文投稿の事前申込
- 7～11月 技術情報誌、Web、メール、地盤工学会誌などにおける開催案内
- 8月 論文の申し込み締切（本論文）
- 8月上旬 第1回行事委員会
- 10月 本論文の修正原稿提出締切
- 11月上旬 登載判定、論文集の印刷
- 12月2日～3日(仮) 第36回ジオシンセティックスシンポジウム
一般発表、委員会セッション、JC-IGS論文賞・奨励賞・技術賞・技術奨励賞表彰式、
第2回行事委員会

(2) 2021年設営費計画

| 内 訳 | 予 算 | 備 考 |
|-------------|---------|-----|
| 交通費ほか | 50,000 | |
| 通信費・消耗品費等 | 30,000 | |
| 論文集編集アルバイト代 | 20,000 | |
| 合 計 | 100,000 | |

(3) 第36回ジオシンセティックスシンポジウム開催費

| 内 訳 | 予 算 | 備 考 |
|-----------------|---------|-----|
| 会場費・設営費 | 0 | |
| 論文集印刷費 | 60,000 | |
| 特別講演謝礼 | 20,000 | |
| 通信費・消耗品・事務局旅費ほか | 20,000 | |
| 懇親会費 | 0 | |
| 合 計 | 100,000 | |

学生・教育委員会 2020年 活動報告

(1) 2020年活動報告内容

1) 委員会開催内容

入門セミナー・見学会の開催企画の検討（委員会開催できず）

2) 行事開催

入門セミナー

開催なし

見学会

開催なし

(2) 2020年委員会設営費報告

| 内 訳 | 予 算 | 実 績 | 備 考 |
|------------|---------|-----|-----|
| 委員会設営費【支出】 | | | |
| 会議費 | 20,000 | 0 | |
| 入門セミナー経費 | 40,000 | 0 | |
| 見学会経費 | 40,000 | 0 | |
| 合計 | 100,000 | 0 | |

学生・教育委員会 2021年 活動計画

(1) 2021年活動予定内容

1) 委員会開催

入門セミナー・見学会等の企画および技術資料の提供等に関して年2回程度のオンラインでの委員会を開催予定。

2) 行事開催

ジオシンセティックス入門セミナー

現場見学会

(2) 2021年設営費計画

| 内 訳 | 予 算 |
|----------|---------|
| 委員会設営費 | |
| 見学会経費 | 50,000 |
| 入門セミナー経費 | 50,000 |
| 合計 | 100,000 |

表彰委員会 2020 年活動報告

(1) 2020 年表彰委員会活動報告内容

・2020 年 IGS 日本支部賞の選考

2020 年 IGS 日本支部賞は下記の各賞について表彰規定により、表彰委員会にて選考した。

2020 年 12 月 10 日のシンポジウム開催時にオンライン形式で表彰を行った。以下に表彰者を示す。

①JC-IGS 論文賞

(ジオシンセティックスに関する学術および技術の進展に顕著な貢献をした論文の著者)

劉爽, 小笠原明信, 林豪人

「ジオセルとジオグリッドを連結した補強土壁の凍上対策に関する検討」

②JC-IGS 論文奨励賞

(ジオシンセティックスに関する研究を行い、将来、学術および技術の進展に貢献が期待される論文の著者)

平井泰輔

「ジオセルと排水パイプを併用した斜面安定工の排水メカニズムに関する模型実験」

③JC-IGS 技術賞 (ジオシンセティックスに関する技術の進展に顕著な貢献をした、個人・グループ)

伊藤浩二

「地震時道路変状防止対策「タフロード®」と発電所道路への適用」

④JC-IGS 技術奨励賞

(ジオシンセティックスに関する技術的研究を行い、将来、学術および技術の進展に貢献が期待される論文の著者)

下田宏治

「セシウム吸着機能付ジオシンセティックスの除染区域適用における継続調査」

(2) 2020 年表彰委員会設営費報告

| | |
|----|----------|
| 盾代 | 60,280 円 |
| 計 | 60,280 円 |

表彰委員会 2021 年活動計画

(1) 2021 年表彰委員会活動予定内容

- ・2021 年 IGS 日本支部賞の選考, 報告など
- ・IGS 賞本部賞の選考など

(2) 2021 年表彰委員会予算案

盾、賞状作成費として 150,000 円

以上

電子情報化委員会 2020年活動報告

(1) 2020年活動報告内容

<主な活動内容>

- ・HPの更新、改良（ニュース、データベースなど）
- ・論文集の公開、技術情報誌の電子化、公開
- ・委員会報告の充実

1. HPの更新、改良について

IGS本部、日本支部からの行事や情報についてHPを中心に発信

○URL <http://www.jcigs.org/>

2. 論文集の公開、技術情報誌の電子化

論文集：

J-Stageにおいてジオシンセティクス論文集を公開

- ・論文集 Vol.35 の J-Stage への登録、公開（12月）→シンポジウムにあわせて公開

（冊子の作成・販売はなく、J-stageのみでの公開）

（シンポジウム期間中は有料公開とし、終了後、会員のみで公開）

- ・論文集 Vol.34 は Vol.35 の公開に合わせ、無料公開に切り替え
- ・J-Stage 事務局との対応・調整

技術情報誌：

2019年まで全て掲載

3. その他

- ・会員サービスの充実と国内・外への情報発信を目標とする。
- ・各委員会サイトの立ち上げ（下記に記載の委員会を先行公開（2021年3月頃））
 - ・国際連絡委員会
 - ・学生・教育委員会
 - ・新技術委員会
 - ・ジオシンセティクス試験法委員会
 - ・編集委員会
 - ・ジオメンブレン技術委員会（島岡先生）11ステージ

(2) 2020年委員会設営費報告

予算：100,000円

(内訳)

- ・HPメンテナンス作業、論文登録作業：89,000円

<支出合計> 89,000円

<残 金> 11,000円

電子情報化委員会 2021年活動計画

(1) 2021年活動予定内容

<主な活動内容>

- ・HPの更新、改良（ニュース、データベースなど）
- ・論文集の公開、技術情報誌の電子化、公開
- ・委員会報告の充実

1. HPの更新、改良について

IGS本部、日本支部からの行事や情報についてHPを中心に発信

○URL <http://www.jcigs.org/>

2. 論文集の公開、技術情報誌の電子化

論文集：

J-Stageにおいてジオシンセティクス論文集を公開

- ・論文集 Vol.36 のJ-Stageへの登録、公開（12月（シンポジウム前））
- ・論文集 Vol.35 は Vol.36 の公開に合わせ、無料公開に切り替え
- ・J-Stage事務局との対応・調整

技術情報誌：

2019年まで全て掲載

3. その他

- ・会員サービスの充実と国内・外への情報発信を目標とする。
- ・各委員会サイト公開（公開可能な全委員会について公開予定）及びメンテナンス（更新）

(2) 2021年設営費計画

予算：100,000円

(内訳)

| | |
|--------------|----------|
| ・HPメンテナンス作業 | 50,000円 |
| ・論文集電子化作業 | 30,000円 |
| ・その他（事務手数料他） | 20,000円 |
| <支出合計> | 100,000円 |

ジオメンブレン技術委員会（第XIステージ）2020年活動報告

(1) ジオメンブレン技術委員会 2020年活動報告

2020年は2018年後半よりスタートした第XIステージ「遮水材料の超長期耐久性」について活動を実施した。

活動内容としては、供用中の最終処分場より廃棄物に埋没していた遮水材料のサンプリング調査を実施し、2009年にジオメンブレン技術委員会より発刊した「廃棄物処分場における遮水シートの耐久性評価ハンドブック」を改訂することを主な内容とする。

2020年においては供用中の最終処分場2件のサンプリング調査を実施し、基本物性などの測定と解析を実施し、採取したデータの取り纏めを実施した。

(2) 2020年委員会設営費報告

委員会開催

2020年 委員会設営費報告（自2020年1月1日 ～至2020年12月31日）

| 科目 | 予算 | 決算 | 備考 |
|----------|--------------|--------------|-----------|
| 委員交通費 | ¥300,000 - | ¥188,230 - | 委員会7回開催 |
| 通信・消耗品費等 | ¥100,000 - | ¥4,972 - | 会議費 |
| 特別予算 | ¥230,000 - | ¥917,500 - | サンプリング費用等 |
| 特別予算 | ¥500,000 - | | |
| 未執行 | | ¥19,298 - | |
| 合計 | ¥1,130,000 - | ¥1,130,000 - | |

ジオメンブレン技術委員会（第XIステージ）2021年活動計画

(1) 2021年活動予定内容

第XIステージのテーマ「遮水材料の超長期耐久性」を2020年より継続実施し、現在実施済みの12最終処分場からのサンプリング調査の結果を、NPO法人 廃棄物地盤工学研究会、NPO法人 最終処分場技術システム研究協会、日本遮水工協会等の関連団体と協業にて取り纏めを行い、耐久性評価についてのハンドブック改訂版の発刊を予定している。

委員会組織（予定）

委員長： 島岡 隆行（九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門）

副委員長： 勝見 武（京都大学大学院 地球環境学堂）

副委員長： 熊谷 浩二（八戸工業大学 名誉教授）

※ 委員については公募を行い、随時見直しを行う。

(2) 2021年設営費計画

2021年 委員会予算（自2021年1月1日 ～至2021年12月31日）

| 科目 | 予算 | 備考 |
|----------|------------|--------------------|
| 委員交通費 | ¥300,000 - | 委員会7回開催 |
| 通信・消耗品費等 | ¥100,000 - | 郵便、通信、封筒、マニュアル印刷費等 |
| 合計 | ¥400,000 - | |

ジオテキスタイル技術委員会（第Ⅷステージ）2020年活動報告

（1）ジオテキスタイル技術委員会 2020年活動報告

2020年は、新ステージの活動テーマの検討のみ行った。

（2）2020年委員会設営費報告（自2020年1月1日～至2020年12月31日）

| 科目 | 予算 | 決算 | 備考 |
|---------|-----------|-----|----|
| 委員交通費 | ¥130,000- | ¥0- | |
| 通信・消耗品費 | ¥10,000- | ¥0- | |
| 合計 | ¥140,000- | ¥0- | |

ジオテキスタイル技術委員会（第Ⅷステージ）2021年活動計画

（1）2021年活動予定内容

ジオテキスタイル技術委員会第Ⅷステージでは、活動テーマを決定し、委員を募集して、委員会を2回開催する。

（2）2021年設営費計画

| 科目 | 予算 | 備考 |
|---------|-----------|----------------------------------|
| 委員交通費 | ¥130,000- | 委員会2回開催：¥65,000(1回)×2回= ¥130,000 |
| 通信・消耗品費 | ¥10,000- | 郵便、通信、資料コピー |
| 合計 | ¥140,000- | |

コーポレートメンバー委員会2020年活動報告

(1) 2020年活動報告内容

- 『ジオシンセティックス技術情報』コーポレートメンバーのページを各社で掲載した。
 - ・3月号 三井化学産資株式会社
 - ・7月号 委員会報告として「コーポレートメンバー委員会報告」を掲載
 - ・11月号 エターナルプレザーブ株式会社
- コーポレートメンバー委員会の開催
2020年2月5日(水) 15:00~17:00 コーポレートメンバー委員会を開催した。
 - ・「日本支部の民間メンバーから本部理事にチャレンジすること」について意識合わせを行った。
 - ・ジオシンセティックス使用量調査で調査先リストの作成と使用量調査についての協力をお願いした
 - ・IGS本部理事選挙に向けてメール配信リストの作成協力
- IGS本部理事選挙での投票メールの配信と投票のお願い
- IGS本部基金の内容をコーポレートメンバー委員にお知らせし、協力をお願いした。
- 第35回ジオシンセティックスシンポジウムで行事委員会と協調して、「コーポレートメンバー」の製品・工法紹介のセッションを設けた

(2) 2020年委員会設営費報告

委員会設営費 : 支出 39,800円 (2月5日/コーポレートメンバー委員会、会議室と会議費)

コーポレートメンバー委員会2021年活動計画

(1) 2021年活動予定内容

- 『ジオシンセティックス技術情報』コーポレートメンバーのページを各社で掲載する。
- ジオシンセティックス使用量アンケート調査への協力
- コーポレートメンバー会議の開催(コロナ感染防止の関係で延期中)
- IGS本部基金の内容をコーポレートメンバー委員にお知らせし、協力をお願いする。
- 各委員会からの連絡事項への協力と協調(試験法の改訂やJISに伴う情報交換など)
- IGS本部選挙への意識合わせ
- その他/会社単位での入会勧誘活動を行う。

(2) 2021年委員会設営費計画

委員会設営費 : 収入 50,000円

※) 会議費等で使用予定

新技術委員会2020年活動報告

(1) 2020年活動報告内容

新技術委員会では2020年の活動として、

① ジオシンセティックスの新技術情報の調査・研究や新技術委員会の活性化を目的とした、現場見学・工場見学の開催

② 新技術関連の講演会の開催

を計画した。

①については、開催することができなかった。

②については、開催することができなかった。

(2) 2020年委員会設営費報告

2020年の設営費報告を以下に示す。

| 収入 | 支出 | 残額 | 支出項目 | 備考 |
|---------|----|---------|------|----|
| 100,000 | 0 | | | |
| | | 100,000 | | |

新技術委員会2021年活動計画

(1) 2021年活動予定内容

新技術委員会では2020年に十分な活動ができなかったため、2021年は積極的に活動を行う。

活動内容としては、

① ジオシンセティックスの新技術情報の調査・研究や新技術委員会の活性化を目的とした、現場見学・工場見学の開催

② 新技術関連の講演会の開催

(2) 2021年設営費計画

2021年の設営費計画を以下に示す。

| 交通費 | 会議費 | 講演会費 | 計 | 備考 |
|--------|--------|--------|---------|----|
| 30,000 | 20,000 | 50,000 | 100,000 | |

ジオシンセティックス試験法委員会2020年活動報告

(1) 試験法委員会の活動概要

- ・地盤工学会基準部に設置されている室内試験規格・基準検討委員会内のジオシンセティックスWGと連携して作業を進めている。
- ・2019年に廃止した「JIS L 0221 ジオシンセティック用語」の改訂版として、土木分野であるA分類として、「JISA 0208 ジオシンセティック用語」を新規制定し、刊行した。
- ・「JIS L 1908 ジオテキスタイル試験方法」を廃止し、JIS L 0221の改訂版として、A分類で新規制定を予定していることを、2020年12月11日にZoom開催された第35回ジオシンセティックスシンポジウムにて、会員への説明を行った。

(2) 2020年委員会設営費報告

2020年は、経費節減のため、メール審議を中心に活動したことから、委員会設営費を使用せずに活動した。

| 内 訳 | 予算 (円) | 実績 (円) | 備 考 |
|--------------------|---------|--------|-------------|
| ① 委員会経費 ・試験法委員会 | 200,000 | 0 | |
| 合 計 | 200,000 | 0 | 残 200,000 円 |

ジオシンセティックス試験法委員会2021年活動計画

(1) 活動計画

- 1)地盤工学会／ジオシンセティックスWGと連携して、「JIS L 1908 ジオテキスタイル試験方法」の改訂に向けての準備を行う予定である。
- 2)ISOで制定されている国際規格を参照しながら、今後、我が国において必要なジオシンセティックス基準を検討するとともに、土研センター、国内メーカー及び関連協会等と意見交換しながら、基準化すべき試験法を抽出する。
- 3)国内のジオシンセティック試験法に対する要望を収集するために、継続的に、IGS日本支部コーポレートメンバー委員会との意見交換会を実施する予定である。

(2) 2021年設営費計画

委員会を2回開催する予定であることから、以下の予算案としたい。

| 内 訳 | 2020年予算案 (円) | 備 考 |
|--------------------|--------------|--|
| ① 委員会経費 ・試験法委員会 | 200,000 | 委員会交通費 (100,000×2回) 熊本あるいは苫小牧ー東京(2回程度) |
| 合 計 | 200,000 | |

IGS日本支部 2020年会計決算

期間：2020年1月1日～2020年12月31日

資料2-1

< 収入の部 >

| 科 目 | 2020年 予算 | 2020年 実績 | 備 考 |
|-----------------------|-------------------|-------------------|--------------------------|
| 1. 会費等収入 | | | |
| ①2020年分 | | | |
| 個人会員 | 1,576,000 | 1,488,000 | 186名 × 8,000円 |
| 学生会員 | 10,000 | 11,000 | 11名 × 1,000円 |
| 法人会員 | 4,560,000 | 4,560,000 | 19社 × 240,000円 |
| 先払分 | 0 | 9,000 | 2021年以降分(個人・学生年会費) |
| ②本部還付金 | | | |
| 法人会員分 | 105,450 | 100,330 | 19社 × 50 \$ (105.61円/\$) |
| (小計) | 6,251,450 | 6,168,330 | |
| 2. 講習会・出版物販売収入 | | | |
| シンポジウム | 750,000 | 256,000 | 参加費(論文集代) |
| 書籍・ビデオ等販売 | 3,000 | 4,000 | 論文集・技術情報 |
| (小計) | 753,000 | 260,000 | |
| 3. 広告等収入 | | | |
| 技術情報誌広告 | 528,000 | 528,000 | 3月号・7月号・11月号 |
| (小計) | 528,000 | 528,000 | |
| 4. 受取利息 | | | |
| 受取利息 | 100 | 132 | |
| (小計) | 100 | 132 | |
| 収入合計 | 7,532,550 | 6,956,462 | |
| 5. 繰越金 | | | |
| 繰越金 | 21,558,232 | 21,558,232 | 前期繰越金 |
| 総 合 計 | 29,090,782 | 28,514,694 | |

＜ 支出の部 ＞

| 科 目 | 2020年 予算 | 2020年 実績 | 備 考 |
|-----------------------|-------------------|-------------------|-----------------------------|
| 1. 本部国際学会費 | | | 担当：事務局 |
| 個人会員 | 656,010 | 601,977 | 190名 × 30 \$ (105.61円/\$) |
| 法人会員 | 2,109,000 | 2,006,590 | 19社 × 1,000 \$ (105.61円/\$) |
| (小計) | 2,765,010 | 2,608,567 | |
| 2. 出版費・講習会等補助費 | | | |
| シンポジウム | 750,000 | 118,065 | 担当：行事委員会 |
| 技術情報(3・7・11月号) | 1,150,000 | 519,365 | 担当：編集委員会 |
| 会員名簿 | 150,000 | 124,960 | 担当：事務局 |
| 講習会・見学会補助費 | 100,000 | 0 | |
| (小計) | 2,150,000 | 762,390 | |
| 3. 委員会経費 | | | 担当：各委員会 |
| 国際連絡委員会 | 2,000,000 | 66,040 | 本部理事会派遣費(キャンセル料) |
| 編集委員会 | 200,000 | 198,000 | 技術情報発行費別 |
| 行事委員会 | 100,000 | 46,060 | シンポジウム・論文集発行費別 |
| 学生・教育委員会 | 100,000 | 0 | |
| 表彰委員会 | 150,000 | 60,280 | 盾・賞状作製費 |
| 電子情報化委員会 | 100,000 | 89,000 | HPメンテナンス作業費, 論文集電子化作業費 |
| ジオメンブレン技術委員会 | 1,130,000 | 1,110,702 | |
| ジオテキスタイル技術委員会 | 140,000 | 0 | |
| コーポレートメンバー委員会 | 50,000 | 39,800 | |
| 技術委員会 | 300,000 | 0 | 調査費用 |
| 新技術委員会 | 100,000 | 0 | |
| ジオシンセティックス試験法委員会 | 200,000 | 0 | |
| (小計) | 4,570,000 | 1,609,882 | |
| 4. 事務局経費・その他 | | | 担当：事務局 |
| 総会 | 300,000 | 144,750 | 会場費, 懇親会費, 往復はがき, 荷物発送費 |
| 地盤工学会(特別会員2級) | 200,000 | 170,638 | 年会費, 会議室使用料, コピー代他 |
| レンタルサーバー代 | 30,000 | 24,891 | HP・メールングリスト用 |
| 通信費 | 150,000 | 127,233 | 郵便物発送費 |
| 消耗品費 | 50,000 | 4,008 | 事務消耗品 |
| 備人費 | 500,000 | 500,000 | 事務局備人費 |
| 幹事会 | 40,000 | 0 | 会議費 |
| 手数料 | 30,000 | 29,864 | 年会費郵便局払込手数料, 銀行各種手数料 |
| その他 | 150,000 | 3,820 | 慶弔費等, 謝金, 事務局交通費他 |
| (小計) | 1,450,000 | 1,005,204 | |
| 支出合計 | 10,935,010 | 5,986,043 | |
| 5. 繰越金 | | | |
| 繰越金 | 18,155,772 | 22,528,651 | 次期繰越金 |
| 総 合 計 | 29,090,782 | 28,514,694 | |

IGS日本支部 2021年会計予算

期間：2021年1月1日～2021年12月31日

資料2-3

< 収入の部 >

| 科 目 | 2021年 予算 | 備 考 |
|-----------------------|-------------------|--------------------------|
| 1. 会費等収入 | | |
| ①2021年分 | | |
| 個人会員 | 1,568,000 | 196名 × 8,000円 |
| 学生会員 | 11,000 | 11名 × 1,000円 |
| 法人会員 | 4,560,000 | 19社 × 240,000円 |
| ②本部還付金 | | |
| 法人会員分 | 102,600 | 19社 × 50 \$ (108.00円/\$) |
| (小計) | 6,241,600 | |
| 2. 講習会・出版物販売収入 | | |
| シンポジウム | 250,000 | 参加費(論文集代) |
| 書籍・ビデオ等販売 | 3,000 | |
| (小計) | 253,000 | |
| 3. 広告等収入 | | |
| 技術情報誌広告 | 528,000 | 3月号・7月号・11月号 |
| (小計) | 528,000 | |
| 4. 受取利息 | | |
| 受取利息 | 100 | |
| (小計) | 100 | |
| 収入合計 | 7,022,700 | |
| 5. 繰越金 | | |
| 繰越金 | 22,528,651 | 前期繰越金 |
| 総 合 計 | 29,551,351 | |

＜ 支出の部 ＞

| 科 目 | 2021年 予算 | 備 考 |
|-----------------------|-------------------|-----------------------------|
| 1. 本部国際学会費 | | 担当:事務局 |
| 個人会員 | 635,040 | 196名 × 30 \$ (108.00円/\$) |
| 法人会員 | 2,052,000 | 19社 × 1,000 \$ (108.00円/\$) |
| (小計) | 2,687,040 | |
| 2. 出版費・講習会等補助費 | | |
| シンポジウム | 100,000 | 担当: 行事委員会 |
| 技術情報(3・7・11月号) | 1,150,000 | 担当: 編集委員会 |
| 会員名簿 | 150,000 | 担当: 事務局 |
| 講習会・見学会補助費 | 100,000 | |
| (小計) | 1,500,000 | |
| 3. 委員会経費 | | 担当: 各委員会 |
| 国際連絡委員会 | 1,500,000 | 本部理事会派遣費 |
| 編集委員会 | 200,000 | 技術情報発行費別 |
| 行事委員会 | 100,000 | シンポジウム・論文集発行費別 |
| 学生・教育委員会 | 100,000 | 見学会・入門セミナー含む |
| 表彰委員会 | 150,000 | 盾・賞状作製費含む |
| 電子情報化委員会 | 100,000 | |
| ジオメンブレン技術委員会 | 400,000 | |
| ジオテキスタイル技術委員会 | 140,000 | |
| コーポレートメンバー委員会 | 50,000 | |
| 技術委員会 | 300,000 | 調査費用 (技術委員会全体の予備費) |
| 新技術委員会 | 100,000 | |
| ジオシンセティック試験法委員会 | 200,000 | |
| (小計) | 3,340,000 | |
| 4. 事務局経費, その他 | | 担当: 事務局 |
| 総会 | 50,000 | オンライン開催準備費 |
| 地盤工学会(特別会員2級) | 200,000 | 年会費, 会議室使用料, コピー代他 |
| レンタルサーバー代 | 200,000 | HP・メールングリスト用・Zoomライセンス |
| 通信費 | 150,000 | 技術情報発送費, 郵便物発送費 |
| 消耗品費 | 50,000 | 事務消耗品 |
| 備人費 | 500,000 | 事務局備人費 |
| 幹事会 | 40,000 | 会議費 |
| 手数料 | 30,000 | 年会費郵便局払込手数料, 銀行各種手数料 |
| その他 | 150,000 | 慶弔費等, 謝金, 事務局交通費他 |
| (小計) | 1,370,000 | |
| 支出合計 | 8,897,040 | |
| 5. 繰越金 | | |
| 繰越金 | 20,654,311 | 次期繰越金 |
| 総 合 計 | 29,551,351 | |

監 査 報 告 書

国際ジオシンセティックス学会日本支部の2020年一般会計について
帳簿・証票・書類等を検証の結果、適正かつ正確であることをご報告申し上げます。

2021年2月4日

監事 明永 卓也

署名 明永卓也 

監事 石川 雅洋

署名 石川雅洋 

国際ジオシンセティックス学会日本支部 2021年 役員名簿

2021年2月4日

| | | |
|-------|--------|---------------------|
| 支部長 | *桑野 二郎 | (埼玉大学) |
| 副支部長 | 宮田 喜壽 | (防衛大学校) |
| 幹事長 | 平井 貴雄 | (三井化学産資株式会社) |
| 副幹事長 | #久保 哲也 | (前田工織株式会社) |
| 会計・幹事 | #板垣 聡 | (前田工織株式会社) |
| 幹事 | *井場 道夫 | (三ツ星ベルト株式会社) |
| 幹事 | *内村 太郎 | (埼玉大学) |
| 幹事 | 勝見 武 | (京都大学) |
| 幹事 | *鎌尾 彰司 | (日本大学) |
| 幹事 | *嘉門 雅史 | (一般社団法人環境地盤工学研究所) |
| 幹事 | 菊池 喜昭 | (東京理科大学) |
| 幹事 | *清川 伸夫 | (東京インキ株式会社) |
| 幹事 | *熊谷 浩二 | (八戸工業大学) |
| 幹事 | *小島 謙一 | (公益財団法人鉄道総合技術研究所) |
| 幹事 | *木幡 行宏 | (室蘭工業大学) |
| 幹事 | 篠田 昌弘 | (防衛大学校) |
| 幹事 | 島岡 隆行 | (九州大学) |
| 幹事 | *龍岡 文夫 | (東京理科大学) |
| 幹事 | *平川 大貴 | (中央大学) |
| 幹事 | *榊尾 孝之 | (太陽工業株式会社) |
| 幹事 | *三木 博史 | (株式会社三木地盤環境工学研究所) |
| 幹事 | 峯岸 邦夫 | (日本大学) |
| 幹事 | *毛利 栄征 | (茨城大学) |
| 幹事 | *矢島 寿一 | (明星大学) |
| 監事 | *明永 卓也 | (三菱ケミカルインフラテック株式会社) |
| 監事 | *石川 雅洋 | (東洋紡株式会社) |
| 事務局 | 奈良真紀子 | (IGS 日本支部事務局) |

* 再任 # 新任